



# IV-JAPAN

NEWS [NO.3] 2004.9.17 発行

## <近況報告>

### ----- 第7回ラオスワークキャンプ -----

8月21日～27日まで今年度のワークキャンプがヴィエンチャン郊外から約20km離れたところに位置するチャンパー村で実施されました。大学4年生鈴木雄一郎さんと当会スタッフ2名が参加しました。ワークキャンプでは村でホームステイし、交流を深めると共に、今年の10月から始まる全労済の支援による小学校建設地に植樹をしました。



ヴィエンチャンのホームステイ先家族と鈴木雄一郎さん



チャンパー村の子ども達と鈴木雄一郎さん

### ----- 資生堂カットアカデミー -----

長年にわたり当会職業訓練理美容コースを支援していただいている資生堂が8月17日から19日までカットアカデミーをラオ・プラザホテルにて開催しました。このイベントはアジア各地（日本、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア）のスタイリストが集い、それぞれの最先端のヘアスタイルやカットを学び合う趣旨です。これにはヴィエンチャン職業訓練の理美容訓練生も見学し、技術を学びました。日本からはタイガー北川さんがスペシャルゲストとして各国のスタイリストの前でカットのデモンストレーションをしました。



タイガー北川さんがカットの実演



ラオス人モデル

4月に開始されたヴィエンチャンでの職業訓練事業（縫製・理美容・調理コース）も4ヶ月間にわたる初級・中級コースが終了し、8月11日に終業式が行われました。これには、JICA、ヴィエンチャン都教育局を始め、多数の関係者、マスコミ各社が参加し、56人に修了証書が授与されました。

初級・中級コースでは、ラオス、タイ、オーストラリアそして日本からの講師による魅力的なカリキュラムによって出席率も94%を越え、訓練生全員が修了証書を受け取ることができました。調理コースでは日本食弁当のデリバリーを実施、在ラオスの日本人社会にも大変好評をいただきました。その他、ホテルレストランへのスタディツアーやフルーツカービング（皿に飾り付けるためにフルーツや野菜を花や葉の形に彫刻する技術）講習を実施しました。理美容コースでは、村でのカットボランティアを実施し、ヴィエンチャンで開催されたカットコンテストにも訓練生が出場を果たしました。縫製コースでは、観光客に人気のブティックや縫製工場へのスタディツアーを実施しました。

今後、各コースから選抜された成績優秀者14人は、上級者コースとしてジョブトレーニングコースに進み、それぞれブティック、美容室、レストランを訓練生自身で運営し、さらに技術の向上を図るとともにマネージメントを実践で学びます。その他の訓練生もこの訓練によって、現時点ですでに21人が就職・開業を果たしました。



修了証書を受け取る訓練生



理美容・縫製コースによる終業式でのファッションショー



ブティックでのスタディーツアー（縫製コース）



ラオスで初めての開催となった日本食コース（左：宇野講師）

**<2003 年度事業報告書>**

1. 日本全国より奨学金ドナーを募り、タイの子ども達とラオス・ヴィエンチャン職業訓練生 240 名に奨学金を支給し、教育の底上げに寄与した。
2. 木工家具職業訓練（初級コース）：ラオス住民の経済自立支援のため、当センター木工トレナーのエイブを講師に、木工家具初心者向け訓練を実施した。（基本的総合理論と技術・木工器具の使い方等）
3. 木工家具職業訓練（中級コース）：初級コースを終えた訓練生のため、日本人木工家具専門家松本重樹先生の指導の下、木工家具経験者向け訓練を行った。
4. シェンクアーン県農村開発事業：山岳民族の生活改善のための井戸ポンプ設置、経済的自立のための米銀行の実施、また AESOP からオーストラリア人専門家が派遣され、家畜飼育・果樹栽培の訓練を 03 年 11 月に実施した。
5. 小学校建設事業：斎藤加代氏寄付により、ヴィエンチャン市中心より 40 分ほどかかるナムグム川に近いタソモ小学校を、村民の建設訓練を兼ねて建設した。
6. 第 6 回ラオス・ワークキャンプ：SARS やラオス国内の治安の悪さから参加者は 4 名だったが、初めてシェンクアーン県でワークキャンプを実施した。事前研修・10 日間のラオスでの体験（ワーク、ホームステイなど）・事後研修・報告書作成などを通して国際協力や南北問題などについて考える機会を日本の若者に提供した。
7. 成人会員の中から 7 名が参加者し、ラオスを通して途上国の実情を知り、当団体のプロジェクトを理解してもらうスタディツアーを実施した。また、ヴィエンチャン都住民のために日本文化紹介ボランティアを併せて実施した。
8. 東芝国際交流財団助成事業：楽師 2 名、民族舞踊者 4 名で実施した。東京銀座十字屋ホールと川口リリア 2ヶ所 4 公演をラオス文化紹介とあわせて実施した他、ホームステイを通して日ラオ相互交流の促進を図る。

**2003 年度 特定非営利活動法人 国際協力 NGO・IV-JAPAN 決算報告**

2003 年 4 月 1 日～2004 年 3 月 31 日

単位：円

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
年会費	3,783,400	海外協力事業	9,944,766
寄附金	885,615	国内協力事業	3,544,828
助成金	8,108,450	管理費	5,176,622
事業収入	3,923,743	外貨両替費による差損	152,481
雑収入	153,070		
期末商品棚卸売高	3,458		
当期収入合計	16,857,736	当期支出合計	18,818,687
前期繰越金	4,161,668	当期収支差額	-1,960,961
収入合計(B)	21,019,404	次期繰越金	2,200,707

注：2003 年 9 月 11 日より当会特定非営利活動は法人となりましたので、上記の決算報告は国際ボランティアの会と（特活）国際協力 NGO・IV-JAPAN の合算一年間報告です。

**カノック奨学金ニュース**

- 1) タイでのカノック奨学金支給は今まで一人の生徒に対し 3 年間の継続支援を皆様をお願いしてきましたが、現地の要望に基づき、刑務所に服役中の親を持つ生徒の奨学金支援は服役が終わるまで、また中学校一年生は初年度に制服代、文房具代等費用が掛かるため、毎年一年生に支給したい等の事情があり、このたび当会は従来の一人生徒に 3 年間継続支給する制度を改め、子ども達のニーズ又は現地事情を考慮した奨学金支給方法に切り替え、より奨学金を必要とする生徒に支給いたします。
- 2) ラオスにおいては①首都ヴィエンチャンの職業訓練の奨学金、②シェンクアーン県の農村開発に使用されています。シェンクアーン県は避地の山岳地帯で一人の子どもに奨学金を支給しても、その子どもの家庭の経済的自立に繋がることは困難で、中退者が出てしまいます。奨学金の一部は、シェンクアーン県ノンヘト郡タムサイ村とタムスア村で実施されている家畜飼育や果樹栽培のプロジェクト費や米銀行、家畜銀行の支援費としても活用され、奨学金生が所属する村全体を経済的に底上げするためにも使われています。皆様のご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

幸子のラオス便り NO. 9 2004年9月15日  
今回は私の日誌から、「夏休みは千客万来、皆IVサポーター」

\* 7月13日：ラオスに戻り、同夜、日本料理訓練コースのボランティア先生の宇野かおるさんの送別会に出席。1ヶ月間汗だけで、ラオス初の本格的な日本料理コースを、元神戸クッキング・スクール講師の宇野さんに担当していただいた。定年になったご主人も一緒にいらして、富永の留守宅に滞在。元商社マンの宇野氏はアフリカ、アラビア等世界中を飛びまわった人。教科書もご主人が英語に翻訳してくれた。定年後に夫婦一緒に何か出来るのは素晴らしい。が、妻の本音は夫を一人で1ヶ月（正確には5週間）も留守番をさせられない、ということか？宇野さんを紹介してくれたのが、やはり、元神戸クッキング・スクール講師の高倉昌子さん、ラオスに1週間ほど助っ人に駆けつけた。高倉さんは2年前に流通科学大学の山田先生が引率して、女優の三林京子さんたちとラオスにいらして以来のお付き合い。山田先生を紹介してくれたのが、当会理事で広島修道大学の山田先生。山田さんはラオス国立大学経済経営学部創設に尽力した方です。ありがたいことに人から人へ支援の輪が広がっています。

\* 7月14日：オーストラリア・ビジネス・ヴォランティア（ABV）の調理専門家ヨースト（オランダ人）赴任。17日、同じくABVの縫製専門家ルーシー（イタリア系オーストラリア人）赴任。約1ヶ月間職業訓練中級コース担当。19日、タイよりメーキャップ専門家のレック到着。ABVはオースエイドが100%支援のNGOです。タイの美容専門家ヨックは資生堂、レックはタイOCC会社の派遣です。IVは宿舎を提供するだけです。ヴィエンチャンのIV職業訓練センターは各国の支援でなり立っています。

\* 7月26日：ジャパン・フード・エンジニアリング前川吉延社長来訪。IVと一緒に何か出来ないかと。前川さんとはバンコックの空港で知人の紹介で偶然お会いしたのが切っ掛け。

\* 7月30日：SSCという日本の会社より30人の昼食会のオーダーを調理コースが受注。訓練生が知恵と技術を駆使して、和食、洋食、ラオス料理を用意。SSCの山本部長は私の親友の中学時代の同級生という関係で、2年前に日本で紹介されたのが切っ掛けで当会理事に就任。ラオスで日本の無償供与の小学校建設のコンサルタントをしている。山本さんは土木が専門だが、ピアノとギターがプロ級で、学生時代は流しでアルバイトをしたというだけあって、ラオスでもパーティでは人気者、おまけに柔道4段とか5段とかで、ラオスで道場を開きたいとか。4月にはカンボジア帰国後、10数年来のパラチフス患者として日本で隔離病棟に入院し、ようやくラオスに来ることが出来た。美容コースのモデルになり、接客が素晴らしかったことに感激して、3コースの訓練生全員を夕食に招待してくれた。若い子大好き、気のいいおじ様。

\* 8月4日、我が家でオーストラリア大使夫妻の送別夕食会開催。大使夫人はラオ語に堪能で、私とはファーストネームで呼びあう仲。日本の外交官とはだいぶ違う。日本の外交官の壁は厚い。なぜもっと気楽にお付き合いできないのかと思う。

\* 8月11日：4ヶ月の職業訓練コース終了式。3コース57人全員に修了賞授与。2日間掛けて、ラオ語のスピーチを用意、90%は通じたというので一安心。ラオ語もスピーチには敬語等があり苦労した。縫製訓練生が自作のドレスでファッションショー。モデルのメイクは理美容コース。謝恩会の食事は調理コース担当。訓練生の家族や友人もたくさん来て、人でいっぱい。卒業証書を始めてもらった訓練生もいて、誇らしげに記念撮影。

\* 8月13日：インターンの松島準之介君の両親来訪。月\$40のアパートを見てびっくりしたようだが、息子がシエンクアーン県プロジェクトの担当になり、「かわいい子には旅を」のたとえどおり、何倍も成長しているのを見て、喜んで帰国。ラオスに学校を1校寄付してくれるとのこと。私も息子が5年間アメリカでたくさんの人のお世話になったことを感謝して、学校寄付は出来ないけど、ラオスで出来るだけのお世話はしたいと思っている。

\* 8月17日～19日：資生堂アジア・ヘアカット・アカデミー開催。アジア各国よりトップアーティスト参加。理美容修了生も見学。一流の技術に触れる好機。世界的に有名な講師のタイガー北川氏は「初歩から一流に触れると成長する」と。期間中訓練生を積極的に助手に採用。私は缶詰めの期間中に、暇を見て参加者にラオス案内を心がける。

\* 8月19日：NEC社会貢献部の山辺さん来訪。奨学金ドナーの春日廣夫妻来訪。

\* 8月20日～26日：鈴木雄一郎君ワークキャンプに参加。ホームステイは昨年日本に招聘した舞踊団員宅。

\* 8月21日：豊田利久理事来訪、IVセンター見学、ヘアカットモデル等。

\* 8月23日：ABVのトリッシュ部長来訪。IV職業訓練センターを見学し、こうゆう団体こそ支援したいと。

\* 9月2日：ヴィエンチャン都とようやく半年も掛かって、1年間の協定書に調印。あと半年で事業が終了してしまうのに。社会主義国ラオスではカウンターパートが政府機関になり、些細なことでも書類で承認を得なくてはならない。いかに資金を有効にラオスの草の根の人々に使用できるか、日々、格闘している。

\* 9月4日：病気で私はじめ職員がお世話になった琉球大の野崎医師の送別会を我が家で。大使館の宮城医師等関係者も出席。

\* 9月5日：ドラゴンクエストで有名な、といっても私は知らなかったが、SQUARE ENIXの福嶋康博氏と日本のNGOミーティング。東南アジアの4カ国の1カ国を選んで莫大な資産を国際協力に支援するための調査に見えられたとのこと。同じレストランに法政大のグループがいて交流。途上国へ学生を引率する先生方の勇気と決断に敬意。



\* 9月7日：国際女性協会（WIG）の例会に出席して、ジョブトレーニングのsmallビジネス紹介。

\* 9月12日：元ラオス事務局ボランティアの松谷フミさんバンコクより来訪。IVセンターの発展振りに感激。

\* 9月14日：流通科学大の上田、南木両教授引率で12名の学生来訪、昼食と美容体験。約150円のネイルアートにびっくり。同じ年代の訓練生がたったの4ヶ月の訓練で技術を身に付け、確実な仕事をしているのに更にびっくり。良い刺激となったようだ。2年も続けてラオスで「ゴミボランティア活動」をしている学生たちに拍手。とにかく実行に移すことが大切。

ラオス事務所は大勢の方々のおかげで運営している事が皆様もお分かりになったことと思います。今後も宜しくお願いします。9月24日から10月23日まで日本に戻ります。是非10月15日の十字屋ラオス報告会や17日の富士見市国際交流フォーラムでお会いしたいと思います。

### ラオス事務所スタッフ紹介

現在IV-JAPANラオス事務所で働いている日本人・ラオス人スタッフを紹介させていただきます。



富永 幸子  
当 会 代 表



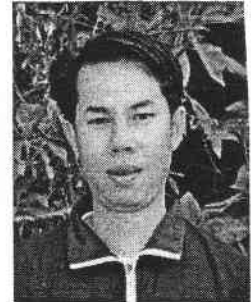
久保 彰子  
職業訓練プロジェクトマネージャー



ヌー  
同プロジェクトコーディネーター  
(埼玉県研修中)



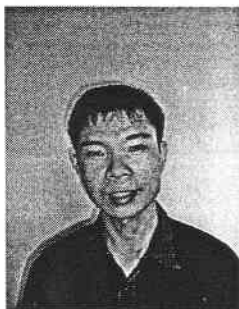
松島 準之介  
農村開発プロジェクトコーディネーター  
(シェンクアーン駐在)



サイ  
農村開発プロジェクトコーディネーター  
(シェンクアーン駐在)



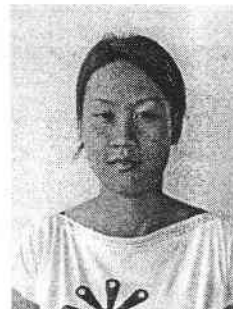
ヤート  
職業訓練アシスタントコーディネーター



エイブ  
同トレーナー  
(木工家具コース)



ルアン  
同アシスタントトレーナー  
(調理コース)



ティー  
同アシスタントトレーナー  
(理美容コース)



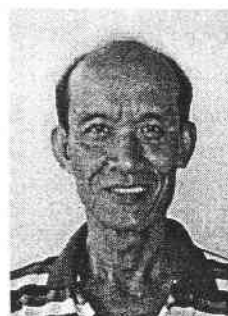
サクン  
同アシスタントトレーナー  
(縫製コース)



ケオ  
庶 務



ユン  
警備員



カンペン  
警備員



トンワン  
顧 問



斉藤 誠  
顧 問

## 全労済の支援による小学校建設

今年の10月1日よりチャンパー村の小学校建設が着工されます。今回の建設も斎藤タソモ小学校と同様に、村民と一緒に小学校建設に携わり、それに伴い建設技術訓練を実施します。来年1月末に完成予定です。また、今年の8月21日に全労済埼玉県本部が、40周年ラオス学校建設支援事業の一つとして「親子で翻訳絵本づくり体験」を実施しました。この企画は学校建設のハードの支援だけではなく、ソフト面の支援の重要性からの日本の絵本をラオス語に翻訳し、ラオスの子供たちに提供する趣旨です。約30家族が参加し、当会副代表理事藤田とラオス事務所スタッフのヌー（埼玉県研修中）もゲスト参加しました。また当会からはラオスの塩に漬けた胡瓜やコーヒー、ラカンカティーが提供され大変好評でした。来年には絵本読み聞かせ講習及び図書活動のワークショップが全労済の助成金を得てラオスで開催される予定です。

### カノック奨学金ドナー紹介（6月15日から9月16日まで）

雨宮かずえ、荒井みど里、石井美代子、市川和良、岩崎雅子、岡庭史子（2口）、小川昭子、春日廣、河島一郎、小池佐栄子、小池絢子、木暮秩、古謝哲哉（3口）、小林文子、斎藤加代（2口）、斎藤ふみ子、佐々木孝子、佐藤美津子（3口）、謝花恵子（2口）、菅原由紀、絢東盛キヨ子、疋田雪子、福永文代、牧野夏樹（2口）、町田裕、松崎峯子、松茂良米子（2口）、竹中成行、田中えいこ、田中恵子、八田節子、服部順子、濱口敏行、向明伸、村本律子（2口）。前回の号で名前に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。 誤）平野口正晴 正）野口正晴 誤）栗原重夫 正）栗林重夫

### 運営費寄付者一覧（6月15日から9月16日まで一万円以下は省略させていただきます。ご了承下さい）

斎藤加代5万円、東京ウィルライオンズクラブ5万円（井戸掘り指定寄付）、高倉昌子1万円、春日 宏1万円、川村 仁\$100、豊田利久1万円。また、今年の2月にNECからノートパソコン一台が寄贈され、またIBMを定年退職なされた山田弘さんからデスクトップパソコン一台が8月に寄贈されました。皆様のご協力に感謝致します。大変有難うございました。

#### <サポート会員募集>

奨学金ドナー及び国際協力費・運営費ドナーを随時募集しています。一人でも多くの皆さまのご協力を、宜しくお願い致します。

##### ① 奨学金ドナー

年1口 12,000円以上

##### ② 国際協力費又は運営費ドナー

※個人 年1口 3,000円以上

※団体及び法人 年1口 10,000円以上

申込方法：郵便振替にてご送金願います

口座番号：00140-5-537168 加入者名：カノック奨学金

#### <編集後記>

職業訓練事業の担当としてラオスに赴任してはや5ヶ月、おかげさまでこちらの生活にも慣れました。しかし慣れるにつれ、ラオス人との労働に対する考え方の違いから判断に迷うこともしばしば。そんな時は、この事業によって、訓練生が経済的に自立できるようになり、この国の人々の幸せに寄与できるかどうか、この原点に照らし合わせて仕事するよう心がけています。まだまだ勉強の日々ですが、皆様のサポートのおかげで事業も順調に進んでいます（久保）。

お陰様で、無事にニュースレターNo.3を発行することが出来ました。9月中に新しくホームページを更新しますので、そちらもご覧下さい。9月よりシェンクアーン県に赴任します。今後はそちらの情報も一緒に皆様に届けたいと思います。（松島）

### 【特定非営利活動法人 国際協力NGO・IV-JAPAN】

#### 日本事務所

〒331-0058 埼玉県さいたま市西区飯田426

TEL:048-622-8612 / FAX:048-625-0271

E-mail: [iv-japan@cc.rim.or.jp](mailto:iv-japan@cc.rim.or.jp)

開所日：月水木金 10:00～17:00

#### ラオス事務所

P.O. BOX 7920 Vientiane, LAO P.D.R

TEL/FAX: +856-21-26-1240

E-mail: [ivjapan@laotel.com](mailto:ivjapan@laotel.com)

開所日：月～金 8:00～17:00

<http://www.cc.rim.or.jp/~iv-japan/>